Panasonic® 小電力型 ワイヤレス窓センサー送信器（受信器連動警報機能付）

（パールブラウン）品番 ECD3470A・ECD3470AP
（パールグレー）品番 ECD3470H・ECD3470HP

取扱説明書 施工説明付き

ECD3470A・ECD3470H

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書をお渡しください。
●万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意

●必ずお守りください

⚠警告

必ず守る	リチウム電池を取りはずした場合は、小さなお子様がリチウム電池を誤って飲まないようにする。
	リチウム電池はお子様の手の届かないところへ置く。 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

必ず守る	リチウム電池は極性に注意して表示通りに入れる。 極性を間違えると、リチウム電池の破裂や液もれの原因となります。
	リチウム電池を交換する場合は、2コとも新しいリチウム電池と交換する。 新しいリチウム電池と古いリチウム電池を混ぜて使用すると、リチウム電池の破裂や液もれの原因となります。
	窓の開閉時、指のはさみ込みに注意する。
	確実に固定する。 固定に不備があると、落下によりけがをしたり、床面にキズをつけるおそれがあります。

ご使用前に

●この商品は、受信器と組み合わせて使用し、送信器からの信号により窓・錠の開閉状態を受信器に知らせる商品です。
なお、この商品は電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。
●本システムは人命保持や盗難事故を完全に防ぐものではありません。
あくまでも補助的なシステムです。
万一、本システムの稼動中に人命・財産などに対して損害が生じても弊社は一切の責任は負い兼ねますのでご了承ください。

おことわり

●送信器は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示（㊣マーク）は、その証明マークです。
表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。

組み合わせ可能な受信器・中継器

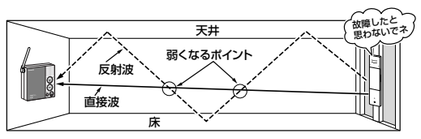
●下記の商品と組み合わせて使用してください。
●ご使用の際にはその商品に付属の説明書を参照してください。
（2008年7月現在）

品　名	品　番
セキュリティ受信器	ECD1101 ECD5101
ワイヤレス中継器	ECD3100

付属品	
マグネット（窓用）・・・・・・・・・・・・・・・・・1コ	位置決めシール ・・・・・・・・・・・・・・・・1枚
スペーサ（窓用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・2枚 厚み:3mmタイプ	リチウム電池（CR2032）・・・・・・・2コ
マグネット（クレセント用）・・・・・・・・・・・1コ	取扱説明書（本紙）・・・・・・・・・・・・・1枚
警戒中シール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚	

設置場所に関するご注意

●送信器は屋内で使用してください。また、送信器は防沫形ですが、サウナや長時間雨のかかる可能性がある場所では使用できません。
また湯水の中につけたり、故意にシャワーなどをかけないでください。
多量の水がかかると故障します。
●受信器と送信器の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。（電波が届きにくい場合は、中継器（別売）をご使用になり、動作を確認してください。）
●下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。
・機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
・機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
・機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
・金属物の壁面に機器を取り付けている。
・操作する人の体の向きで電波を遮っている。
・電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
・機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
・機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
・機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
・近くに、テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。
●到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。



●設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。
設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

使用上のご注意

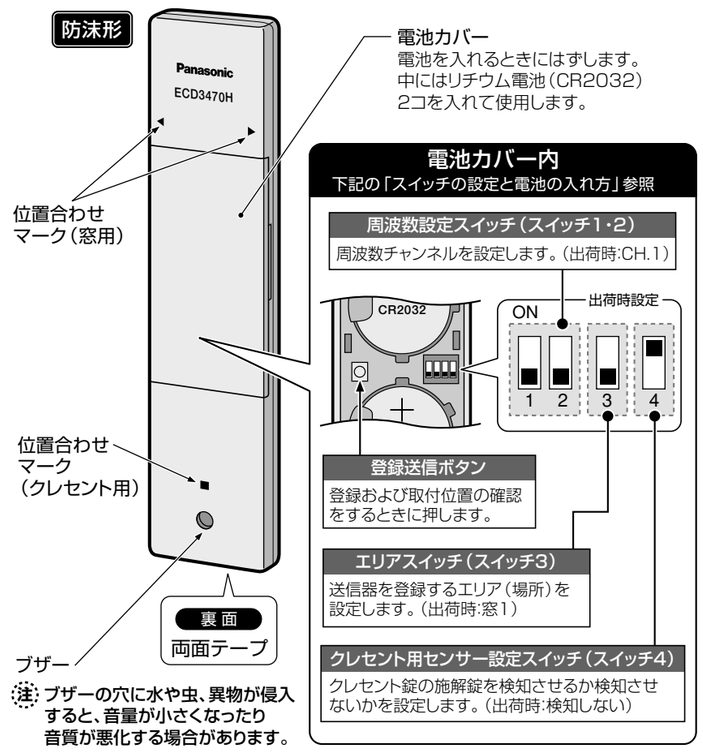
●この商品は本体の中にあるリードスイッチがマグネットの磁力によって開閉され信号を送信します。近くに強い磁力を発生するものがある場合は、誤動作するおそれがありますので注意してください。
鉄製のクレセント錠にマグネットは取り付けできません。
●本体およびマグネットに衝撃を与えないでください。
落としたり窓を強く開閉すると、誤動作や破損、変形の原因となります。
●−10℃以下、40℃以上の使用環境では電池の性能が低下し、動作しない場合があります。
●受信器と送信器は50cm以上離して使用してください。
●2台以上の送信器から同時に電波が送信されると、受信器は動作しないことがありますが、故障ではありません。
●送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため送信器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。
また、マグネットは強い磁石を使用していますので、医用電気機器に近づけると故障の原因となります。
●受信器・送信器の取付場所を変更する場合、あらかじめ動作確認を行ってください。
●登録や使い方については、受信器に付属の説明書をよくお読みください。

お手入れ方法
●ふだんのおそうじは・・・
やわらかい布でふき取ってください。
●汚れが目立つときは・・・
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使わないでください。
㊟ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

■各部のなまえとはたらき

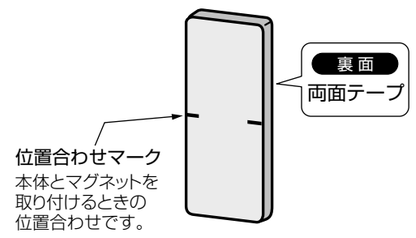
本　体

窓用およびクレセント用センサー（リードスイッチ）が内蔵されています。



マグネット（窓用）

●ガラス面などに貼り付けて使用します。



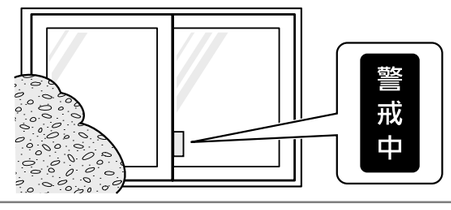
㊟確実に位置合わせをしないと、窓の開閉を正しく検知できない場合があります。

スペーサ（窓用）

●本体とマグネットの距離が検知範囲以上ある場合は、付属のスペーサをお使いください。

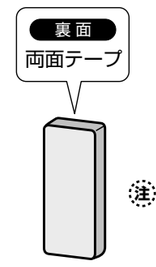
警戒中シール

●ガラス面などに貼り付けて、外側から警戒中であることを知らせます。
●マグネットと重ねて貼付ると、外側から見たときに、マグネット貼り付け面を目立たなくすることができます。
（裏面「取付方法」の手順 7 参照）



マグネット（クレセント用）

●クレセント錠のノブに貼り付けて使用します。



本体の位置合わせマーク（クレセント用）の上にくるように貼り付けます。

㊟確実に位置合わせをしないと、クレセント錠の施解錠を正しく検知できない場合があります。

屋内用 ■仕　様

電　源	リチウム電池（CR2032）×2コ
動作電圧範囲	2.2V〜3.5V
消費電流	動作時:40mA以下 待機時:20μA以下
音　量（前方1mにて）	警報音:約80dB「ヒュンヒュンヒュン」 報知音:約65dB「ピーピーピー」
使用周波数	CH1(426.7625)MHz CH3(426.7875)MHz CH5(426.8125)MHz CH7(426.8375)MHz の1波 ※周波数設定スイッチで選択

電波の到達距離	障害物のない場所での水平見通し距離約100m （周囲環境により異なります。）
送信出力	10mW $^{+20\%}_{-50\%}$
電池寿命	約1年（窓・クレセントの開閉:10回/1日）
使用周囲温度	−10℃〜+40℃
本体の寸法	高さ:約120mm　幅:約28mm　奥行:約8.4mm
質　量	●本体約24g（電池含まず）　●マグネット（窓用）約5g ●マグネット（クレセント用）約2g

■スイッチの設定と電池の入れ方

㊟●受信器に送信器を登録しないと使用できません。下記の手順❶〜❹を行ってから受信器の説明書にしたがって登録してください。
●設定スイッチを変更した場合は必ず電池を入れ直してください。正しく動作しません。

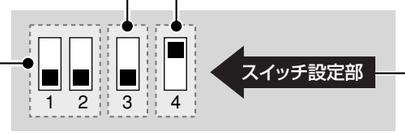
❶電池カバーをはずす

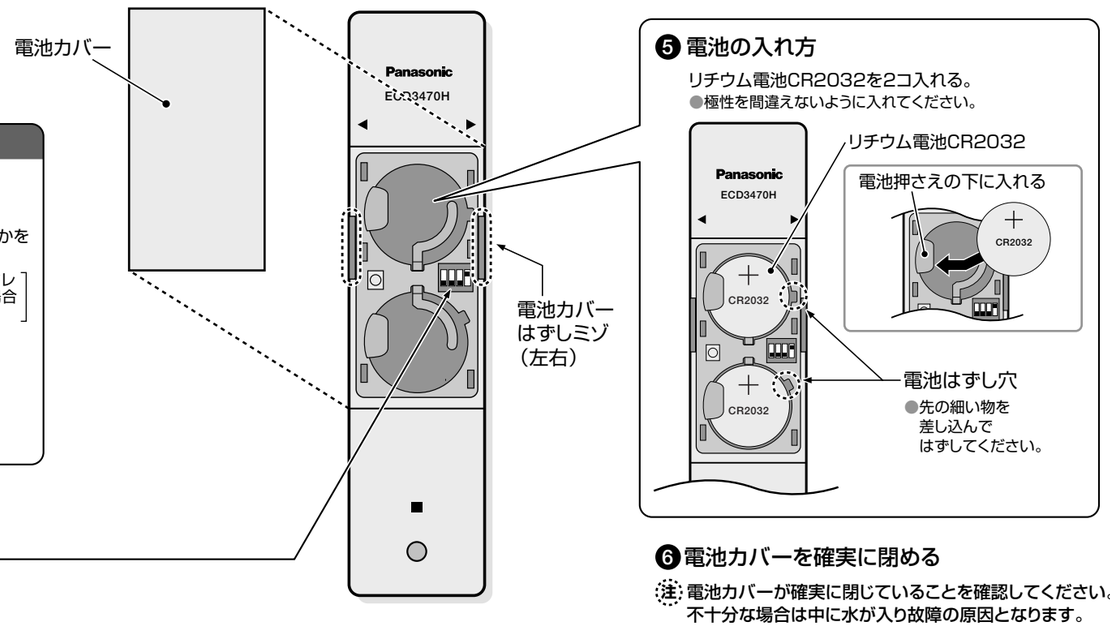
周波数チャンネルの確認とスイッチの設定

❷周波数チャンネルの確認（スイッチ1・2）
通常は変更不要です。受信器の周波数チャンネルと違っていれば、周波数チャンネルを変更して、受信器と合わせてください。
CH.1（1 2）　CH.3（1 2）　CH.5（1 2）　CH.7（1 2）

❸エリアスイッチの設定（スイッチ3）
送信器を登録するエリア（場所）を設定します。
窓1（3）　窓2（3）

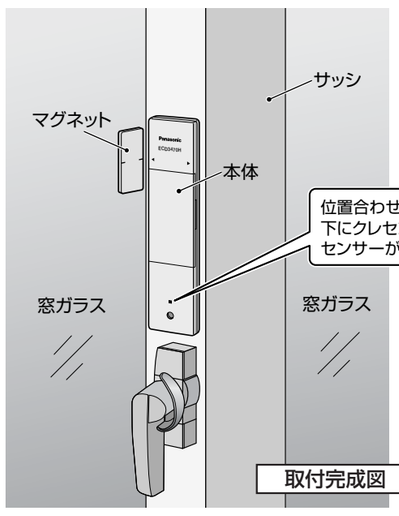
❹クレセント用センサーの設定（スイッチ4）
クレセント錠の施解錠を検知させるか、検知させないかを設定します。
［クレセント錠の施解錠を検知させたくない場合や、クレセント錠の形状からマグネットが取り付けできない場合には、「検知しない」側に設定してください。］
検知する（4）　検知しない（4）





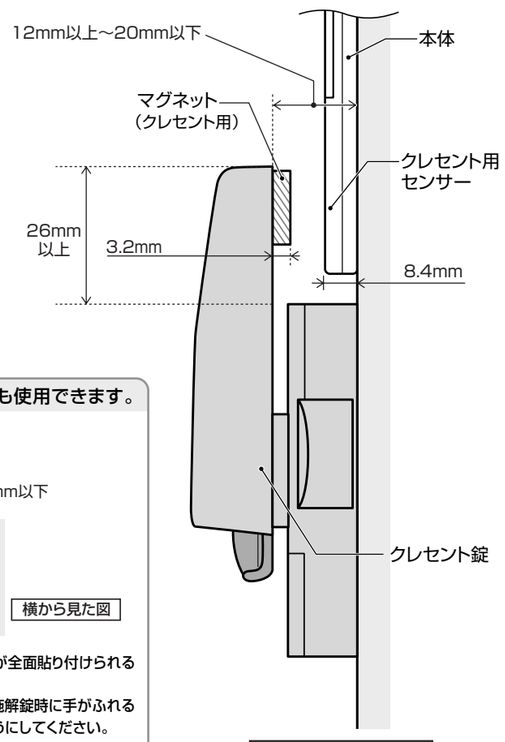
■取付方法

取付方法は裏面に続きます。



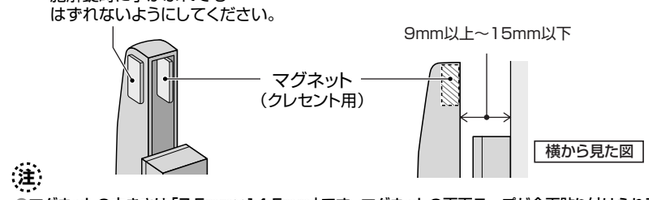
取り付け可能なクレセント錠

㊟鉄製およびエラストマー製（取付部がゴム製のもの）のクレセント錠には、マグネット（クレセント用）は取り付けできません。
クレセント用センサー設定スイッチを「検知しない」側にしてお使いください。本体の窓用センサーで窓の開閉検知が可能です。



クレセント錠の裏面にマグネットが貼れない場合下記に貼っても使用できます。

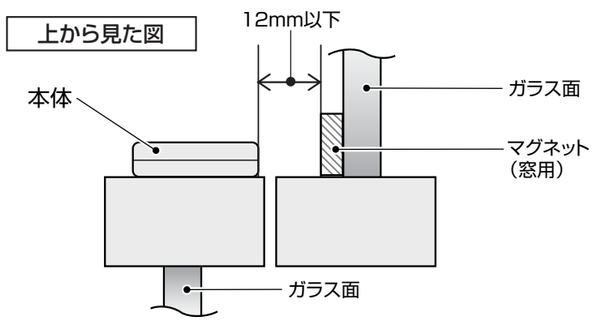
ここでも貼り付け可能ですが施解錠時に手がふれてもはずれないようにしてください。



㊟
●マグネットの大きさは「7.5mm×14.5mm」です。マグネットの両面テープが全面貼り付けられるスペースがある場所に取り付けてください。
●衝撃などによる落下防止としてシリコンシーラントなどですき間を埋めたり、施解錠時に手がふれる位置に取り付ける場合は、テープなどで巻き付けてマグネットがはずれないようにしてください。
●内側は汚れがひどい場合がありますのできれいにふきとってください。
取付後ははずれないようにプラスチック製の定規などで押さえてください。

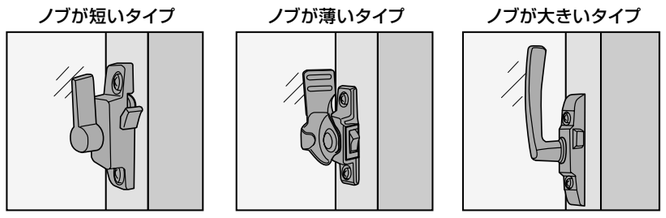
取り付け可能な窓

㊟
●右勝手用・左勝手用どちらの窓にも取り付け可能です。
●本体とマグネットの位置が12mm以上離れている場合は、マグネットにスペーサを貼って取付位置を調整してください。
●鉄製窓に取り付ける場合は、スペーサ（窓用）を2枚使用して鉄（磁性体）との距離を離してください。検知距離が短くなりますので設置後、必ずテストモードで動作確認を行ってください。



㊟マグネット（窓用）を貼り付けるために内窓のサッシと外窓のガラス面の距離は、6mm以上必要です。（マグネット（窓用）の高さは3.2mmです。）

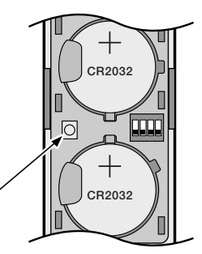
●取付不可能なクレセント錠



※マグネット（クレセント用）が取り付けできない場合、またはクレセント錠の施解錠検知が不要な場合は、送信器のクレセント用センサー設定スイッチを「検知しない」側に設定してください。

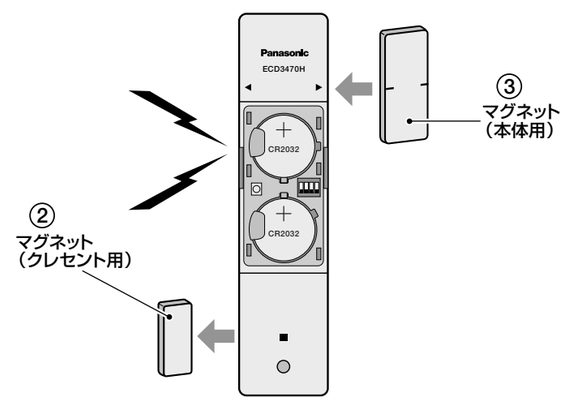
重要 マグネットの取付位置の確認方法

①登録送信ボタンを1秒以上押す
●取付位置が検知範囲内かどうか送信器をテストモードにして確認できます。
●テストモードになると、「ピッ」音が鳴ります。
●約1分経過すると、テストモードは自動的に終了します。（電池をはずすと、テストモードは終了します。）



②クレセント錠を施錠した状態で、実際の取付場所に送信器とマグネット（クレセント用）を置く
➡「ピーピーピー」音が鳴り続けば、その位置で使用できます。

③マグネット（クレセント用）を遠ざけて、窓を閉めた状態で、実際の取付場所に送信器とマグネット（本体用）を置く
➡「ピー」音が鳴り続けば、その位置で使用できます。

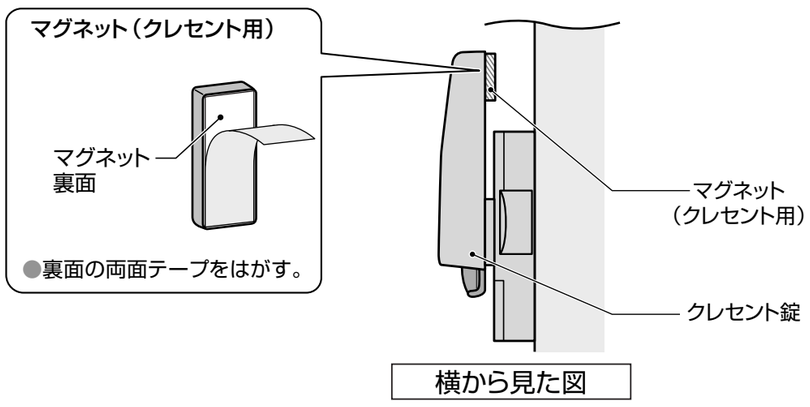


■取付方法（つづき）

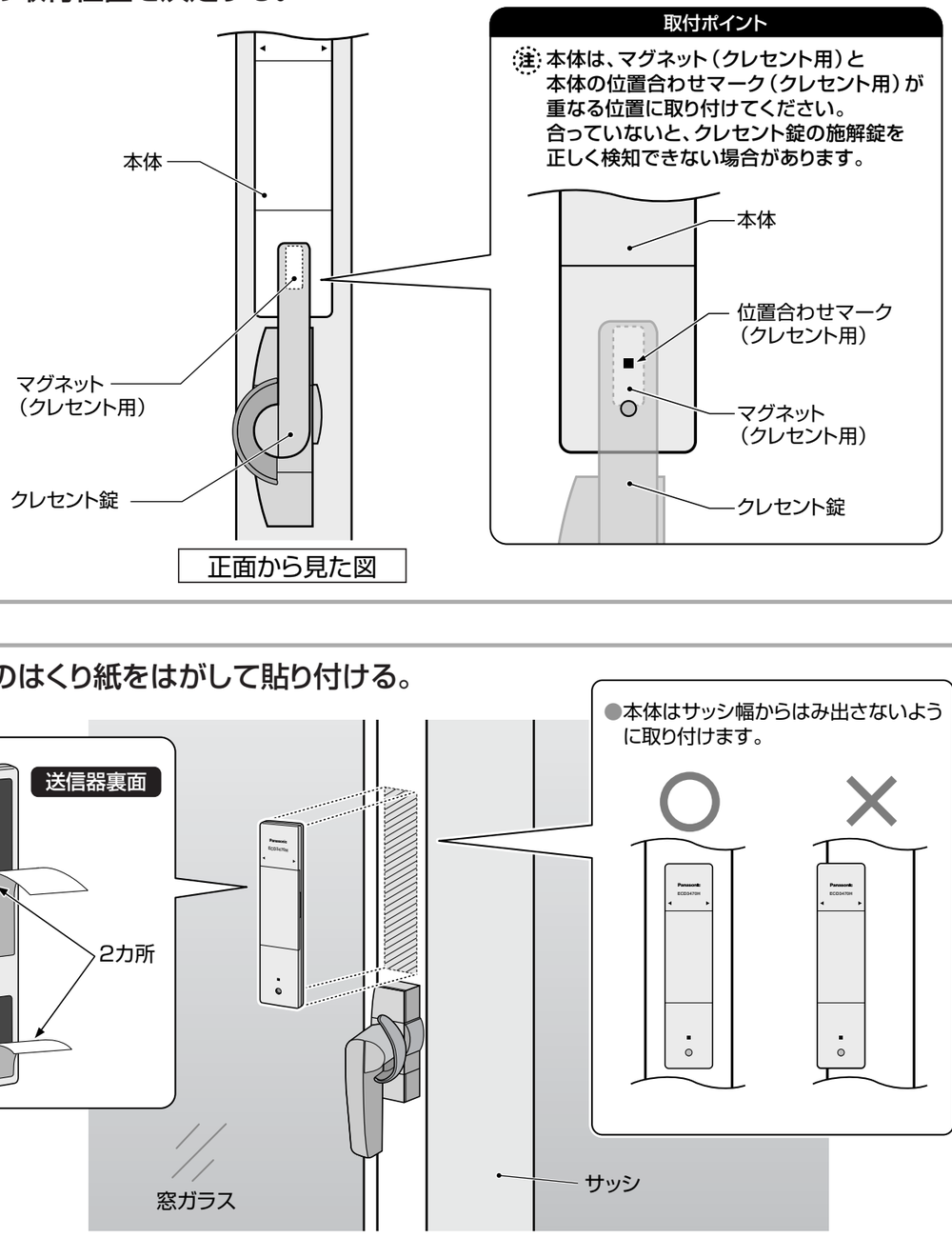
取付手順（取付例:右勝手用）

1 取り付けサッシ、クレセント錠およびガラス面の汚れや水滴をふく。

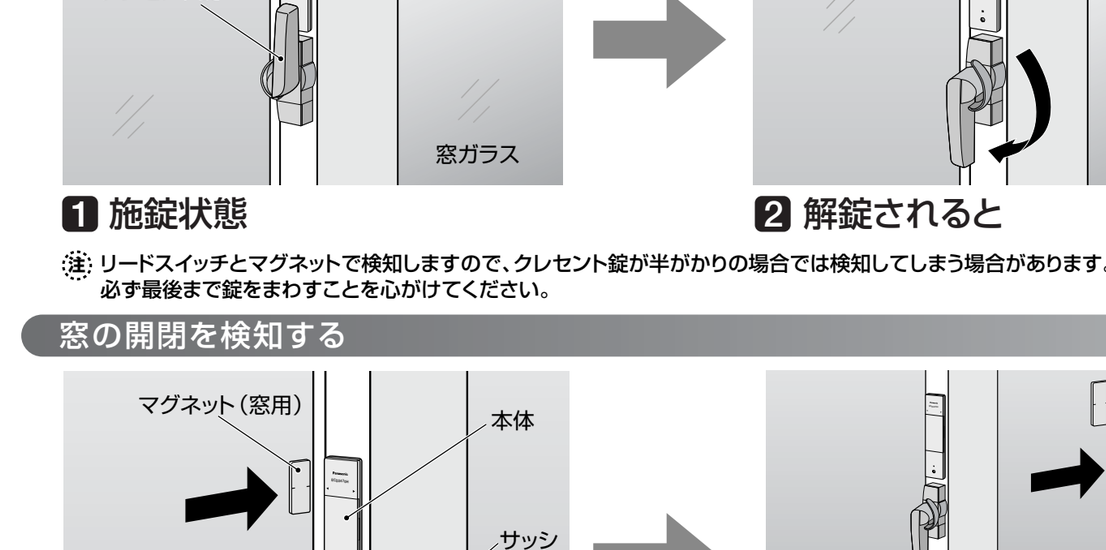
2 マグネット（クレセント用）をクレセント錠に貼る。



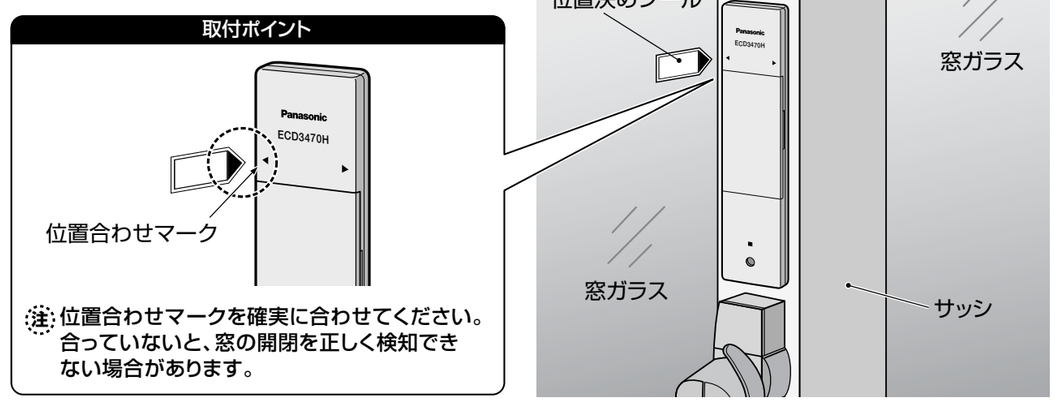
3 本体の取付位置を決定する。



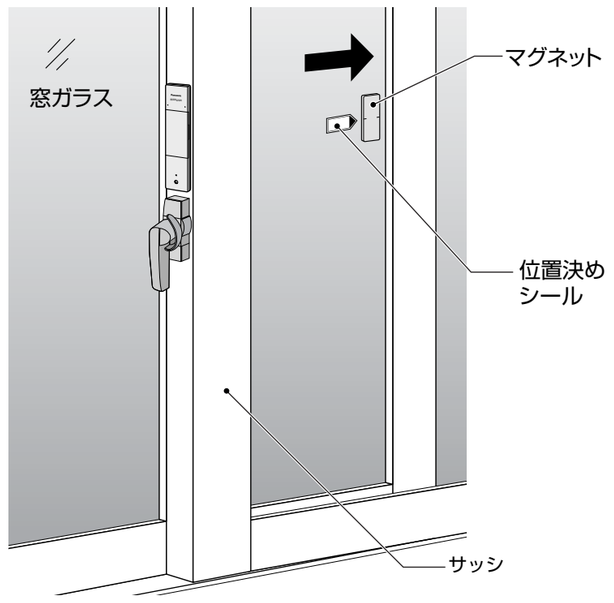
4 裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。



5 位置決めシールを本体の位置合わせマークに合わせて貼る。

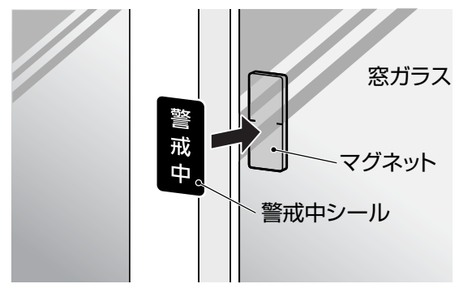


6 窓を開き、行違いさせて、位置決めシールに合わせてマグネットを貼り、位置決めシールをはがす。



7 室外側からマグネットをおおうように警戒中シールをガラス越しに貼り付ける。

注 マグネットの貼付部分がすりガラスなどで貼りにくい場合は、マグネットの位置ではなく、窓ガラスの透明部分に貼ってください。



8 取付後の動作確認をする。

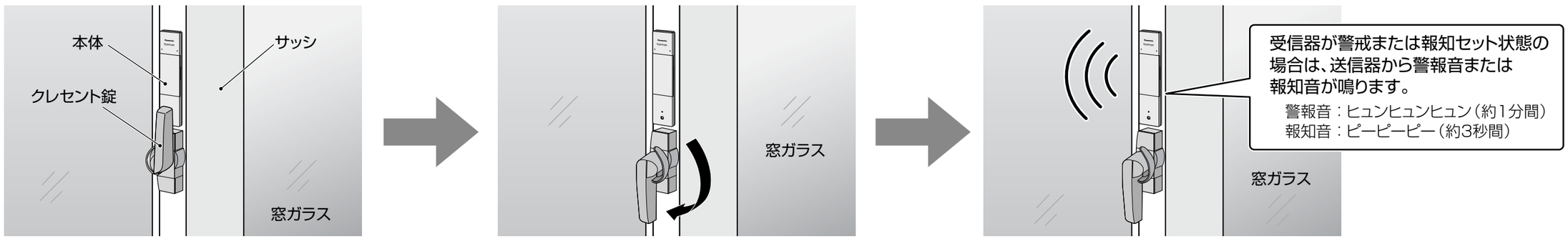
❶窓を開閉して、サッシと本体、または本体とマグネットが接触しないか確認する。
❷「使い方」の項目にしたがって、正常に動作することを確認する。

注 電池カバーが確実に閉じていることを確認してください。不十分な場合は中に水が入り故障の原因となります。

注 ●貼付位置の汚れを落とし、ぬれている場合は乾かしてから貼り付けてください。また冬期はストーブなどで粘着面を温めてから貼り付けてください。
汚れやぬれていたり、粘着面の温度が低すぎると、粘着力が弱くなり、はがれるおそれがあります。
●粘着力が強いため、一度貼り付けると取りはずすことが困難なので、あらかじめ窓の開閉時に本体やマグネットが当たらないことを確認してから、貼り付けてください。
●貼り付け後、はずれないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。
●両面テープは最初は粘着力が弱い場合がありますが、一昼夜程度で十分な粘着力になります。
（本体やマグネットに強い衝撃を与えないようにしてください。）

使い方

クレセント錠の解錠・施錠を検知する



1 施錠状態

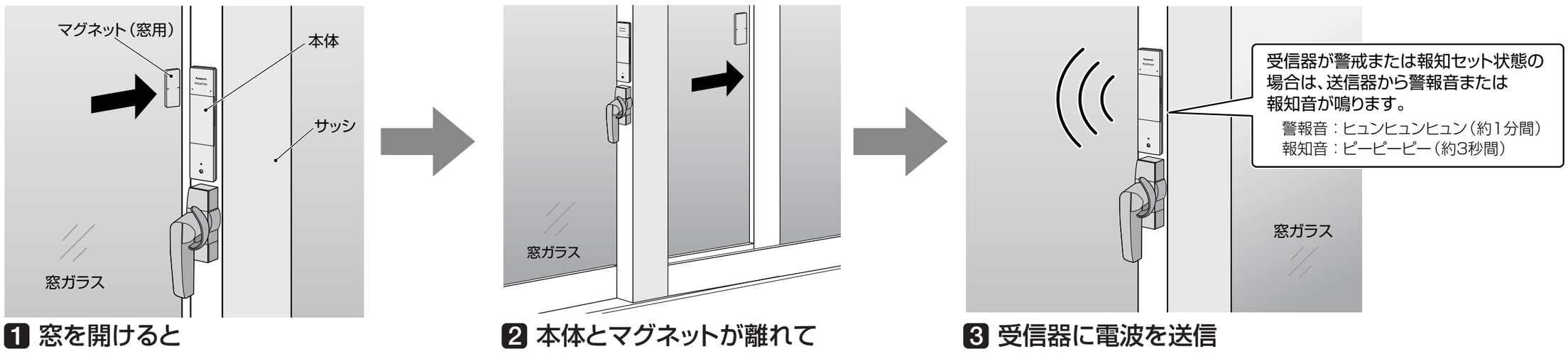
2 解錠されると

3 受信器に電波を送信

注 リードスイッチとマグネットで検知しますので、クレセント錠が半がかりの場合では検知してしまう場合があります。必ず最後まで錠をまわすことを心がけてください。

注 受信器の動作については、受信器側の説明書を参照してください。

窓の開閉を検知する



1 窓を開けると

2 本体とマグネットが離れて

3 受信器に電波を送信

注 受信器の動作については、受信器側の説明書を参照してください。

使用上のご注意

●サッシなどのガタツキにより、サッシと本体やマグネットが接触する場合は、サッシなどにキズをつけるおそれがあります。窓の建て付けの修理をしてください。
●送信器は7時間ごとに自動的に電波を送信しています。電池切れが近くなると受信器に電池切れ信号を送信します。
●電池を取りはずさないでください。受信器側で通信異常となります。

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部 〒514―8555 三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

8A3 036 00002 M0307-10708DH